

社団法人豊橋青年会議所 創立60周年記念事業

JCフォーラム 2011 「自立」と「共生」の 調和した社会の 実現に向けて



平成23年

6月1日 水

開場 18:00 / 開会 18:30 (閉会 21:00)

ライフポートとよはし

豊橋市神野ふ頭町3番地の22 0532・33・2111

Part.1 ミニ・コンサート

maia hirasawa *Concert*
マイアヒラサワ コンサート



Part.2 創立60周年記念市民フォーラム
パネルディスカッション

Guest Coordinator & Panelist



金美齢氏



中田宏氏



三宅久之氏



コーディネーター
辛坊治郎氏

“自立と共生”
今、この地域が生き残り
成長するために
何が必要なのか…

■詳しくは裏面をご覧ください

主催 社団法人 豊橋青年会議所

TEL.(0532)52-9980 <http://www.t-jc.jp/>



後援／中京テレビ放送、中日新聞社、東愛知新聞社、東海日日新聞社、
豊橋ケーブルネットワーク、ティーズ、エフエム豊橋

60th Anniversary

社団法人豊橋青年会議所 創立60周年記念事業

JCフォーラム2011



「自立」と「共生」の
調和した社会の
実現に向けて

社団法人豊橋青年会議所は1951年の設立以来、本年創立60周年を迎えることができました。そこでこのたび、創立60周年記念事業として、各分野の著名人をお招きし『自立と共生』をテーマとしたパネルディスカッションを行います。地域主権という観点で地域のこれからを考えたときに、地域が権限と責任を持って各々が抱える諸問題に取り組むという自己責任の発想のもと“個の自立”から“地域の自立”へと繋ぐために何が必要となってくるのかを共に考え、この地域の明るい未来へと寄与してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

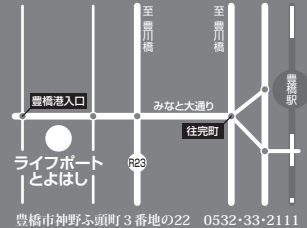
社団法人豊橋青年会議所 理事長 大場 雅之



平成23年6月1日(木) ライフポートとよはし
ご入場には事前配布のチケットが必要となります

■お問合せ 社団法人 豊橋青年会議所 60周年事業推進会議
☎0532・52・9980 <http://www.t-jc.jp/>
FAX : 0532-54-1566 / E-mail : info@t-jc.jp
※お電話でのお問合せは、10:30～16:30までの時間帯にお願いいたします。

■お申込み 中京テレビ事業 検索 ※HP「中京テレビ事業 チケットオンライン(<http://cte.jp/>)」をご参照ください。



Part.1 ミニ・コンサート

maia hirasawa Concert
マイアヒラサワ コンサート

仙台にゆかりのある彼女から
愛すべき地へ向けた生のメッセージを皆様とともに…

マイアヒラサワ Profile

1980年、スウェーデン、ストックホルム生まれ。日本人の父とスウェーデン人の母をもつ。2007年、アルバム「I'm Just Me」でデビュー。その個性的な歌声とカリスマ性は瞬く間に話題となり、同アルバムはゴールドディスクを獲得。2008年、P3 Guld にて最優秀新人賞を受賞。その後、一時仙台に居住し、日本国内での活動もスタート。花王「エッセンシャル」CMソング「It Doesn't Stop」や大塚製薬POCARI SWEATのCMソングに起用され、日本国内でも大きな注目を浴びる。



ご来場の皆様へ

フォーラム開催当日、開場入場口にて東日本大震災復興支援募金を募ります。是非、ご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。

Part.2 創立60周年記念フォーラム

パネルディスカッション

コーディネーター：辛坊治郎氏

パネリスト：金美齢氏 中田宏氏 三宅久之氏

豊橋青年会議所創立60周年記念事業として、各分野の著名人をお招きし『自立と共生』をテーマとしたパネルディスカッションを行います。地域主権という観点で地域のこれからを考えたときに、地域が権限と責任を持って各々が抱える諸問題に取り組むという自己責任の発想をもとに“個の自立”から“地域の自立”へと繋ぐために何が必要となってくるのか。そして“市民と市民”、“市民と行政”“市民と地域”とを、より強固なパートナーシップにて結ぶきっかけとして何が大切な事なのか。そこから従来の枠を超えた地域の観点で、“東三河”という広域的な視野に目を向けた上で、どのような運動をすべきなのか。幅広い見識をお持ちのパネリストをお招きし、国家という枠組みでこの地域がどのように生き残っていくことができるのか、また成長をしていくことができるのか、その為にどのような必要があるのかと、ご意見を頂きます。また先の震災からの経験を踏まえ、このまちが生き残っていく上で“地域”と“国”がどのような形で連携していくことが重要であるのか、ご意見を頂きます。

Guest Coordinator & Panelist



金 美 齢氏

1934年生まれ。台北出身、日本統治下の台湾で育ち、日本敗戦後国民党による台湾人弾圧時代を経験し、日本に留学してから台湾民主化運動に参加する。台湾の民主化が進んだ後、台湾総統府国策顧問に任命(2000年～2006年)されるなど、台湾そして日本への強い影響力をもつようになる。テレビ、書籍、講演などで見られる筋入りの『闘士』『戦士』としての姿、そこには実体験から生まれた確かな主張がある。その凛とした生き方は多くの人に勇気と元気を与えている。



中 田 宏氏

1964年生まれ。1989年青山学院大学経済学部卒業後、助松政経塾に入塾。松政経塾時代は各自自治体でリサイクル・アドバイザーとして活躍。1992年日本新党旗揚げに参画。参議院秘書、党報道室長を務めた後、1993年の第40回衆議院議員総選挙に立候補してトップ当選を果たした。2002年横浜市長に政令指定都市の市長では最年少の37歳で就任。2006年に2期目の当選、2009年横浜市長退任。



三 宅 久 之氏

1930年東京生まれ。1953年早稲田大学文学部卒業後、毎日新聞社に入社。政治部記者として、首相官邸・自民党・社会党など各党および各府庁を担当。政治部副部長・静岡支局長・特別報道部長などを歴任。1976年退社後、与野党指導者等との幅広い人脈を活かし政治評論家として活躍。政界の裏表を知り尽くした鋭い政治評論と、常に衣着せぬ社会時評で茶の間のファンも多い。



コーディネーター
辛 坊 治 郎氏

1956年鳥取生まれ。幼少期から大学時代まで埼玉県人間市で過ごす。1980年早稲田大学法学部卒業後、読売テレビ放送局に入社。アナウンサーとしてニューススクランブルのキャスターなどを務め、1997年より報道局解説委員に、2000年には報道局情報番組部長に就任。2010年9月30日をもって退職し、自身が設立したシンクタンクである大阪総合研究所へ移籍。退職後も各番組に出演を続ける。